

# 守破離



## 守破離に込めた想い

『守破離(しゅはり)』とは、茶道や華道、武道など、「道」とつく芸道などにおいて、その文化が発展していく過程で広く語り継がれてきた言葉です。この語源は諸説あるようですが、わび茶を完成させた千利休の教えをまとめた「利休道歌」にある「規矩作法(きくさほう) 守り尽くして破るとも離るとても本を忘れるな」という歌の三文字をとったものだとも言われています。

『守破離』の「守」は師(先生)からの教えを忠実に、基本を習熟する段階、「破」は身につけた基礎を磨き、より洗練させて基本の型を破り、応用する段階、「離」は師の教えから離れ、独自の新しい境地を切り拓くこと、創造の段階をあらわしています。これらの教えは時代が変わっても一つの物事を習得し、新境地を開拓する過程の中で重要な教訓を示していると思います。基本がないままに、「破」や「離」に到達することは不可能というものです。昨年度最後の学年集会で話した「型やぶり」の話と共通しています。「型やぶりとは型を身につけた人がやるから型やぶり。型のない人がやったら、それは形なし。」

千利休が安土桃山時代に完成させた茶の湯が時を経て、令和の時代になっても続いているのは、『守破離』時代が変わっても、進化発展のために大切な心得となっているからではないでしょうか。また、人が人間として成長するうえで重要な過程を示していると思います。

3年生のみんなは、1人ひとりが自分で進路選択をし、社会へと羽ばたいていきます。今の社会は変化が激しく、急速に新たなことがどんどんでてくる世の中です。予想以上の困難なことにぶつかることもあると思います。そんな社会で自分らしさを発揮し、よりよく生きていくために、この1年間でまずは基本をしっかりと身につけた上で、オリジナリティーを発揮し、創造的に中学校生活を送ってほしいと思います。そして、139人全員が明るい進路を切り拓けるようにしていきましょう。

## ひさびさの給食

4月10日(水)から給食が始まりました。ここ数年の給食時間は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から給食は班隊形にせず、前を向いて、静かに食べていましたが、今年度から以前のように班隊形で給食を食べることになりました。班員とワイワイしゃべりながら食べている班もあれば、少し緊張した様子で食べている班もありました。中学校生活最後の1年です。行事だけでなく、何気ない日常の場面でも仲間との時間を大切にしましょう。



給食初日の A 組



給食初日の B 組



給食初日の C 組



給食初日の D 組